

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2014 年 4 月号 (第 71 号)

発行責任者 薄井 文子

**ところざわ倶楽部文芸講座 平成 26 年 6 月～7 月全 4 回開催****講座名 「人間・正岡子規」 ～ある明治人の人格形成物語～**

栗田博行氏

事業部では昨年好評であった古典講座「現代に生きる松尾芭蕉」に引き続き、本年度は俳句、短歌の革新と日本近代散文の基礎作りという仕事を成し遂げた正岡子規の、35 年に充たない短い生涯の、大きな人格形成物語を 4 回講座で開催いたします。講師は NHK ディレクター、プロデューサーとして「人間・正岡子規」「大江健三郎・私の子規」「司馬遼太郎・雑談『昭和』への道」等を手がけられ、正岡子規の後輩でもあります松山出身の栗田博行氏です。講義は、正岡子規の原文・関わった人々の証言・後世の批評等を、字幕・映像と講師朗読によりきめ細かく提示して行きます。これにより、原文を執筆する子規の精神の動きを同時進行的に受け止めるひとときを共にします。また、講座の他に 1 日スクーリング「子規庵と大龍寺を訪ねる」を企画しています。「子規の心を 今を生きる糧に！」、俳句ファン、文学ファンの皆さん、多数の参加をお待ちしています。(広報 池田記)

◆日 : 6 月 9 日より 4 回 (下記参照)

◆時間 : 13:30～15:30 (予定)

◆場所 : 生涯学習推進センター 201 教室

◆募集人員 : 80 人 (会員 50 人 一般 30 人)
先着順となります

◆受講費 : 1000 円

◆主催 : ところざわ倶楽部 協力 : 葵の会

◆申込み : サークル理事、又は個人で申込み

◆締め切り : 5 月 20 日 ※詳細は 5 月号

◆連絡 : 杉浦 ☎ 2949-5560 池田 ☎ 2940-0711

「人間・正岡子規」講義内容 (毎月曜日)

講師 : 栗田博行氏 (子規研究家)

第 1 回 6 月 9 日 : 弱味噌クンに元

気が宿るとき

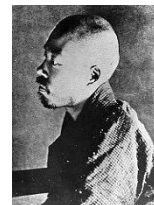
第 2 回 6 月 16 日 : 明治の青春・

試行錯誤と試練そして自己否定

第 3 回 6 月 23 日 : 日本新聞社員

タリ「月給四十円」の自負自足

自由参加 : 7 月 1 日 (火) 子規庵と大龍寺を訪ねる

第 4 回 7 月 7 日 : 病床からの大業「あきらめる以上」
のことをやる

公開講演会報告

「日本の東アジア外交のゆくえ」

事業部

田村 健一郎

講演会の概要：3月26日（水）中央公民館ホールにおいて、ところざわ倶楽部主催、今期第2回目の公開講演会が開催されました。講師の藤田博司先生は、元上智大学教授、元共同通信論説副委員長です。市民大学各期で、国際政治、地方自治について講義、また倶楽部HPで「見てきた北朝鮮」を9回レポート頂き、倶楽部特別会員・傍聴席顧問をお願いしています。参加者は約200名で、半数は会員以外の市民でしたが、折しも、オランダ・ハーグでの日・米・韓3国首脳会談や日・北朝鮮交渉がニュースとなり、講演に続いて40分近い質疑応答が行われ、このテーマへの関心の高さを窺わせました。

講演の内容：

1. 日本と東アジア

- ①緊張高まる東アジア情勢は、尖閣領有権などをめぐる日中の対立激化／歴史認識問題などで日韓関係も険悪化／見えない北朝鮮新体制の今後／日韓関係、対中戦略で米が懸念がある。
- ②東アジア「危機」の背景として、日・中・韓・北で政権、首脳の交代など、関係国それぞれの事情があり、日本の要因についても、一線を越えた靖国参拝、安倍政権に対する海外の見方、米国の苛立ちがある。
- ③今後の東アジアの情勢見通しは、短期的にも長期的にも楽観視はできない。

2. 近隣諸国とどう付き合うか

- ①戦争は「絶対に」してはならない。安全保障を強固なものとするには、アジアの火種をまとめていく心が必要で、最悪の事態に立ち至らないため外交で解決する努力をする。
- ②対外的には、周辺諸国との緊張、摩擦、対立の原因を除去する。強気の発言で無用に緊張を高めない、周辺国と敵対的にならぬよう妥協が必須で、うまく付き合って事を収める。
- ③対内的には、軍国主義の復活を外から疑われないような施策を追求する。内向きの国内世論に迎合し、あまり勇ましいことばかり言わない。
- ④第2次大戦における日本の戦争責任を国として忘れない、被害を受けた近隣諸国の心情や立場を理解する。特に若い人にキチンと伝える義務がある。

3. 時には、近い隣国との付き合いを隣人になぞらえて考えてみる

「人と人、近所の人・隣の人とうまく付き合うか？」
「人は引っ越すことは出来るが、国の場合は引っ越す訳にはいかない。同じ隣人と付き合わなければならぬ。」このことはわが国のみならず近隣諸国にも言えることで、皆が幸せになるという理念のもとでの外交力を高めることが先決ではないか。

平成 26 年 3 月理事会報告

総務部長 森下 尚洋

3月理事会は10日(月)に開催された。

1 会長事案

(1)倶楽部あり方検討委員会報告

委員は8名で構成。月1回開催で2月より検討開始。会則、倶楽部のあり方を検討

2 総務部事案

(1)会員名簿

住所、氏名、電話番号の記載された名簿は役員の上に配布。氏名と所属サークルの記載された名簿は、サークル代表理事を通じて会員にメールにて配布。広場郵送会員には「広場」と同時に郵送する。

(2)サークル名簿に基づきサークル活動費を支払った。

3 事業部事案

(1)3月講演会「日本の東アジア外交のゆくえ」のスケジュール、役割分担の説明

(2)文化祭演芸部門、現在7件の申し込みあり、展示部門2件、申し込み締め切り3月末。展示部門の閲覧時間の検討。

(3)古典講座は事業部会として「正岡子規」に決定。講師は未定。今回も倶楽部主催とする。開催時期は6月～7月、場所は生涯学習推進センターを予定。

(4)パソコン講座は、会員を講師として具体的なテーマとして実施してはとの意見あり検討中。

(5)「公園を楽しむ会」主催のバス旅行(3月20日 内房総)の紹介、参加者募集。

4 広報部案件

(1)「広場」3月号の内容紹介。

(2)「広場」4月号の企画紹介。

ホームページ 2 年のあゆみ

岡田 俊吾

2 年前の平成 24 年 3 月 8 日、ところざわ倶楽部ホームページが新規に開設されました。

ある時は、ついに今週はネタ切れかと諦めかけていると、思いもかけず原稿をいただくこともあったりして、毎週の連続更新記録が 2 年を過ぎました。皆様のご協力に感謝します。

毎回、いただいた原稿にまず目を通し、出来る限り作者の思いを正確にお伝えしたいとレイアウトや、書体、形態、色彩までをイメージし、ページを仕上げております。

そんな時、読者のみなさまより一時早く、愉快な話に思わず吹き出し、熱い思いに共感し、自分に重ねて幼いころの思い出を懐かしみ、新鮮な思考に感銘を受けるなど、をすることができるのは

HP 担当者の役得でしょうか。特に、寄稿「私の故郷」などに“お母さん”のくだりが出てくると、なぜかその度に胸が熱くなり目が潤んでしまいます。どなたにも、“ふるさと”とは“いつの時にも母親の面影が心に思い浮かぶところ”ではないか、と思ったりもしています。

今までにご寄稿いただきました 130 余のエッセイや 120 余の写真、及び各サークルの活動記録などは全てホームページ上に保存されており、いつでも読み返すことが出来ます。

HP 公開 3 年目の今年も、皆様から魅力ある原稿をいただき、このように楽しい作業ができることを願っております。ご協力よろしくお願い致します。

ホームページの首位打者になって

島川 謙二

倶楽部の HP が 2012 年月 8 日に開設されて 2 年余り、投稿欄にはエッセイなどが 130、写真などが 120 掲載されました。(3 月 25 日現在) 私はエッセイに 21 回、写真に 14 回、計 35 回投稿し、総合で打率 0.14 を達成しました。もちろん首位打者と勝手に思っています。倶楽部から表彰とか感謝状とかはまだ戴いておりませんが・・・。
(#^.^#)

エッセイの No.2『白夜のロシア』や、写真の No.1『ゆかいなインド人』は思い出の記念作品です。エッセイではロシア、韓国、ベトナム、インド、福岡など旅の紀行文や『世界有名ブランド物語』、サークル・葵の会で行った『浅草大衆演劇』、『京都展』などのほか、老人の日になんだ投稿の最後に『ちょい悪オヤジのドッキリカメラ』を紹介しましたが今でも見なおして笑ってしまいます。

一方、『オバマ大統領再選に思う』、『100 回目の読書会』、『日本の木の文化』などという超真面目な文章も私は書くことができるのです。(一;-) 写真では No.50 ラブラドルとダウン症の幼児の交流動画、『日本人よう考えるね』、『これがアジアアフリカパワー』なども好評でした。『お一人様』は自分でも笑ってしまいます。

私は一昨年 4 月に『シャスター君』を投稿しました。『わが家のペットシリーズ』をねらったの

ですが残念ながら会員の方々の後続なしで、シャスター君も昨年 7 月に急死してしまいました。

倶楽部の 2 大メディア、機関誌『広場』と HP



は大切です。HP は速報性と映像性と親密性が特徴でしょう。会員に限らずオープンにされています。HP にも愛称、たとえば広場の意味のラテン語『フォルム』、ギリシャ語『アゴラ』をつけたら洒落てるかなと思います。

昨年末から始まった『私の故郷シリーズ』は、みなさんの『ふるさと』への想いが個性豊かに書かれていて、ジーンと伝わってきます。佳作ばかりで私の愛読コーナーです。昨年 12 月 29 日午後 5 時 10 分に HP にアクセスしたら 40002 でした。残念でした。現在 43000 ぐらいですから 50000 のピッタリ賞なんかあると・・・HP が『ヒューマンな』親しみやすいものであれば、もっともっと読まれていくことでしょう。

サークル活動レポート

—青春時代をふたたび—

《懐かしの映画・鑑賞会》

田淵 喜代子

私達のサークルは現在 28 名の会員数で、月 2 回の鑑賞会は熊野神社境内、西新井町公民館が劇場です。10 時～12 時まで上映会、その後お弁当、温かいお茶、お菓子、お手製の香の物、サラダなど。時には泡の出る飲み物も用意され、笑い声が絶えない楽しいランチタイムが始まります。

先日、キャサリン・ヘップバーンの「旅情」（1955 年公開）を鑑賞しました。主人公の女性はイタリアに着いた時、公園の水道で顔を洗うシーンがあります。それは彼女が素颜だったのです。ひょんなことから恋人となる男性に巡り逢い、だんだんと彼女は美しく変貌していく過程を、若いときは見落としていました。この年になって再び「旅情」を見て、彼女の女心・気持ちの移ろい（目の輝き、髪の毛のお手入れ、イヤリングを選ぶ動作等）が良く理解出来ました。このように懐かしい映画を見ることで感動が呼び起こされ、気持ちも若返るのです。



アラン・ドロン

私が今までで一番好きな映画は、オードリー・ヘップバーンとグレゴリー・ペックの「ローマの休日」です。おとぎの国のお話みたいで、何度見ても夢見る夢子ちゃんになります。大好きな俳優はアラン・ドロンです。この世のものとは思えない顔ですね。

日本人の俳優では大川橋蔵です。凛々しさがいいですね。東映時代劇が全盛だったころ、今のダイエーの所に東映劇場映画館がありました。80 円が木戸銭、20 円がアイスクリーム代で・・・懐かしい思い出です。会員の皆様のリクエストやご希望にお応えできる様に計画しております。4 月からは、「男はつらいよ」「狂った果実」「おしゃれ泥棒」「地獄門」「おはよう」「シェーン」「八甲田山」と街の映画館も顔負けのプログラムです。女性会員のお・も・て・な・しは心得たものです。どうぞ気楽にお立ち寄り下さいませ。

サークル活動レポート

仲間とたのしく学ぶ

《北欧の会》

樋口 俊夫

私たちのサークルは結成から 6 年目に入りました。当初 8 名の会員からスタートしましたが、現在当初からの会員は 4 名、中途からの入会者が 3 人の



7 名です。出来ればあと 2、3 人の入会があれば理想的なのですが。例会は会員の皆

さんのご協力によって運営されてきました。大きなサークルと違い、ひとり一人の存在感は大きく、会員同士の話し合いなど密度が濃いものになっているのではないかと考えています。最近では中途入会の会員がアイデアを出して新しい企画をしてもらうことが多くなっています。

先日の例会ではアンデルセンの「みにくいアヒルの子」と宮沢賢治の「よだかの星」の輪読を行い、感想など話し合いました。両作品の共通点は主人公

の姿が醜いためにいじめられ、仲間はずれにされても「自分の思い」を貫こうとして、最後は死を覚悟して邁進していくところです。例会では①アヒルの子は何故白鳥になれたのか。②よだかは仲間をつくれなかったのか③賢治とアンデルセンの生い立ちと生涯と作品の関係④現代社会における格差社会との関係など多様な視点から話し合いが行われました。

アンデルセンは 1840 年前後に、宮沢賢治は 1920 年代から 30 年代にかけて作品を発表している時代を考えると興味深いものです。両作品とも作者はプライドを失わずに目標や夢に向かって進みなさいと読者に訴えているように思われる。例会終了後、新鮮で面白かったと参加者からの声があり好評でした。北欧の会では今年度はアウトドアの活動を増やし楽しむ計画を立てています。5 月と 10 月には北欧料理の会食と大使館訪問を予定しています。興味のある方の参加をお待ちしています。

《私の提言⑤》

ところざわ倶楽部への思い

岡本 詔一郎

私は市民大学（2回）、高齢者大学それと県のいきがい大学（人間学園）を卒業し、卒業生の会にも全て入っていることもあり、一言！

①市民大学卒業後の1年次の班会、2年次の講座の会、そんな会にも講演会等の案内をしてはどうだろうか？それらの会のデーターの収集もいざという時に有効な気がする。

②倶楽部の理事の構成について一言、発足時の理念は2年任期で半分交代。ところが3期目ごろから、活動の主体はサークルとの発想からサークル全代表等が理事に入り、他は理事等の推薦理事で構成されている。卒業直後のフレッシュな理事、2期目の理事、サークル代表、この三者により理事会を構成するのが良いように思う。

③サークル未加入会員にはサークル入会を勧めるとともに、理事の中に未加入担当の理事を置き、き

め細かな配慮をお願いしたい。文化祭出演依頼はサークル代表を通じてやるようになっているが、未加入会員はどうすれば良いのか？

④市民大学・高齢者大学・いきがい大学の卒業生の会は、それぞれ全く違う。卒業生各期が一体となっている組織（ところざわ倶楽部）、各期が期として独自に活動（高齢者大学）、各期の活動と連盟一体型（いきがい大学）とが有る。ところざわ倶楽部は卒業年次が同じ理事の方に何か担当してもらって事業を進め、会の活性化を！

⑤265名大所帯に成長した倶楽部は組織として市に貢献できるものを模索し、会員が一つになり、卒業生を束ねて市の事業の推進に協力してはどうだろうか？

～地域の高齢者の生涯学習を支える活動にも積極的に取り組んで欲しい。～

こんな事あんな事 ⑦

秩父34ヵ所札所巡り

佐藤 滋

ご存じですか、秩父34ヵ所は西国33ヵ所、板東33ヵ所とともに日本百番観音と言われている、創建は文暦元年(1234年)甲午歳3月18日、今年で780年となります。ご本尊は、普段、秘仏として扉が閉じられていますが、十二年に一度の午歳に扉を開き、総開帳となります。今年は創建時と同じ干支（十干十二支ともいいます）ので、60年ぶりの、甲午歳総開帳（期間：3月1日～11月18日）です。秩父34ヵ所は、秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町と極めて狭い地域ありますので、鉄道やバスを使って、気軽に札所巡りができます。

私も6年前に札所巡りをしています。結願の34番水潜寺へは、友人とともに皆野駅から札立峠経由で歩いたのですが、7月の炎天下、汗だくのハイキングでした。しかしこれがきっかけとなってハイキングが趣味となったのです。自然にふれながら歩く

事は健康にも良いようで、血糖値等も改善しています。

なお、関連イベントとして西武鉄道・秩父鉄道合同の「秩父札所午歳総開帳記念ハイキング」が開催されています。興味のある方は西武鉄道各駅に置かれている「ウォーキング&ハイキング4・5・6月号」をご覧ください。



23番 音楽寺近くの十三地藏

【市民大学は今—21 期—】

一年次修了パーティー開催！

第 21 期企画委員

二上 拓夫

2 月 27 日、「脳の科学」の特別講座をもって、21 期一年次が修了致しました。その前の週、2 月 20 日には、一年次修了パーティーがミューズ事務棟 5 階にて盛大に行われました。昨年 6 月 6 日開講し、はや 9 ヶ月グループの仲間意識も深まり、修了パーティーは大変な盛り上がりを持って行われました。料理や飲み物において、今回はひと工夫の調達をし、手作り感・満載のパーティーとなりました。

グループ渾身の余興は、おのおの特徴のある出し物で、楽しくて笑いのあるものが次から次へと登場しておりました。「ふらふら！？フラダンス」に始まり、合唱においては若さを売り物に？「青

い山脈」や「高校三年生」・授業風景や自分たちの生活を替え歌にしたもの・園児の姿で寸劇と続き、極め付きは詩吟で居合抜きを披露する・・・なかなか芸達者な方々いるものです。また、宴会の盛り上げ方で「所沢音頭」を皆さんで総踊りとなり宴会も最高となりました。

3 月に入り、6 日のオリエンテーションから 7 テーマに別れた二年次の活動に入りました。新たなメンバー編成で、今年の 10 月までを「おもしろがり屋」の精神で 21 期受講生には良き出会いと、良き経験をしていただきたいと思います。



【市民大学は今—22 期—】

受講生募集スタート！

第 22 期広報委員

田口 元也

“新しい自分を見つけませんか！”のキャッチフ

レーズで、第 22 期所沢市民大学の受講生募集が開始されました。今年は何のくらいの倍率でしょうか。年々応募者が増え「はがき」を 3 回出してようやく入校できましたという奇特な方もいらっしゃいます。まわりには、企画員の



「お力でなんとかありませんか！」なんていう方もいらっしゃいますが、「応募者抽選マニュアル」なるものを見ますと、けっこう厳選な選考で受講者が決定していきますので“なんともなりませんね”というしかありません。強いて励ましの言葉をかけるとしたら“落ちててもまた来年がんばろう！”本人にはなんの慰みにもなりませんね。

さて第 22 期企画委員会では、3 月 18 日をもってマラソンというペースメーカー 4 人の 18 期企画員とお別れし、いよいよ第 22 期企画委員として一人立ちとなりました。ある時は優しくも時おり厳しいご指導をたまわり、最後に“企画委員として、これまで築いてきた信頼と、主体性を大切に”とのお言葉を先輩からいただきました。

今後は、カリキュラム編成に続いて「1 年次運営・役割」など実践に向けた協議に入っていきますが、1 年次を終え 4 月から 2 年次を迎える第 21 期企画委員との担当別交流会を「市民大学通信」編集、移動学習、課外授業、修了パーティーの 4 部門にわたって行いました。「市民大学通信」の編集部門では、6 月号から 11 月号まで合同編集となるので、編集の流れ、ページ配分、内容構成、紙面の割付など綿密な打ち合わせとなりました。

なにはともあれ、どんな“受講生”が入学してくるか“楽しみ半分、不安半分”というところですが、まずは「1 年次修了パーティー」まで諸先輩のみなさんご指導よろしく。

ちなみに、第 22 期受講生の応募締め切りは 4 月 16 日（必着）です。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560)

5 月 21 日(水) 13:30~16:30 定例会
詳細は追って連絡

公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)

4 月 24 日(木) 大正・昭和の歴史と花と新緑を楽しもう
(多摩御陵・多摩森林科学園) 所沢駅 2 階改札 9 時集合
5 月 22 日(木) 「さいたま緑の森博物館」散策のお誘い
小手指駅南口 9 時 50 分集合

地域の自然を考える会(広沢正己 2939-9181)

4 月 12 日(土) 梶谷八幡湿地苗床荒起こし 8:00~
19 日(土) 梶谷八幡湿地種籾消毒と種蒔き 8:00~
19 日(土) 早稲田大学周辺散策懇親会 10:00~14:00
22 日(火) トトロ 12 号地里山管理作業 10:00~12:00

地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)

4 月 15 日(火) 定例会 9:00~11:00 新所沢東公民館
各自の研究課題の発表、情報交換他
5 月 20 日(火) 定例会 9:00~11:00 新所沢東公民館

野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695)

4 月 17 日(木) 鎌倉街道(上道を鎌倉まで歩く)①
所沢から鎌倉を目指す
5 月 1 日(木) 富士塚巡り③
各地の富士山信仰を訪ねる

懐かしの映画・鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151)

4 月 22 日(火) 10:00~12:30 中央公民館 3 号室
邦画「狂った果実」(56 年) 裕次郎・北原三枝

北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

第 48 回例会 4 月 26 日(土) 13:20~
北欧の高齢者福祉について
場所 新所沢東公民館

第 49 回例会 5 月 大使館訪問と北欧料理会食

歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

5 月 9 日(金) 谷中・根津・千駄木を歩く
集合:所沢駅 2 階改札内 9:30

食を通して所沢を知る会(鷹田良彦 090-5550-8015)

5 月 13 日(火) 10:00~ お茶摘み体験・和田園
6 月 3 日(火) 午前予定 山田うどん工場見学会
関心のある方のご参加をお待ちしております。

みんなで学ぼう認知症(本多義博 090-3144-1438)

4 月 28 日(月) 所沢市出前講座開催
生涯学習推進センター (101 室) 13:00~
「いつまでも生き生きと健やかに暮らすために」
5 月 26 日(月) 第 20 期「脳の科学」WG の勉強内容を発表

葵の会(池田新八郎 2940-0711)

4 月 23 日(水) 秩父札所巡り (第 3 回)
札所: 13・15・14・16・17・18 (詳細は後報)
5 月 8 日(水) 中央公民館 (13:30~16:00)
古典講座 万葉集第 5 回「山上憶良の声」

楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)

5 月は抽選もれのため未定です。日時が確定し次第お知らせします。

① 歌劇「子供と魔法」/フグ・ヴェー・イン・ブルー他
② ベートーベン交響曲第 5 番 (場)中央公民館#8・9

地域の自然(多胡國男 2993-6143)

4 月 12 日(土) 09:00~ 堆肥鋤き等
場所: 早大 B 地区調査地・畑
4 月 26 日(土) 09:00~ 落葉堆積場整備
場所: さいたま緑の森博物館調査地

地域の祭り研究会(加藤敏恭 2923-5263)

4 月 17 日(木) 9:00~11:00 幹事会 新所沢公民館
5 月 11 日(日) 北条祭り
5 月 15 日(木) 9:00~11:00 幹事会 新所沢公民館

所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835)

4 月 21~25 日 景観市民活動クラブ活動展示会 (市役所)
5 月 14~16 日 長野高山村「リンゴ花摘み」ボランティア
5 月下旬 市民大学ファーム作業

ドラマティック・カンパニー(小坂英子 2995-1495)

4 月 12 日(土)、19 日(土) 10:00~12:00
5 月 03 日(土)、17 日(土) 10:00~12:00
『ヘンリー六世』を読み進めるとともに、文化祭で朗読する『トロイアの女たち』の練習を行います。
会場: 新所沢東公民館

傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)

4 月 21 日(月) 定例会、14 時~新所沢東公民館
① 平成 23 年度の市議選直前アンケートの検証
② 市議選の(新人・元職)選挙公約の検証
議員がその後どのように活動したか検証を試みます。

民話の会(仲山富夫 090-3902-0283)

4 月 18 日(金) 13:00~15:00 中央公民館 (4 号室)
(注) 今月は 13 時スタートです 民話朗読会
5 月 16 日(金) 11:00~13:00 中央公民館 (予定)
民話「福猫塚」朗読、パワー P 他完成

歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400)

5 月 16 日(木) 谷根千地区を散策する
6 月 13 日(金) 花菖蒲と東村山の歴史を訪ねる
7 月 4 日(金) 近隣の博物館を訪ねる

所沢ニア世代地域デビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)

4 月 22 日(火) 10:00~ 定例会 生涯学習推進センター
5 月 13 日(火) 10:00~ 学習会「出前講座」地域における社会活動参加について 生涯学習推進センター 102 号室

【私の健康法】

“好奇心を持つ、食にこだわる”

吉田 麗



私は心を健康に保つことが最も大切であり、そのためには、常に好奇心を持つことが必要だと思っています。気になることがあったらとりあえず首を突っ込み、始めたら10年間は続けることをモットーにしています。

子育てをしながらのフォークダンス、テニス、山登り、スキー、太極拳、今は茶道、フラワーアレンジメント、卓球、自彊術、など。またオペラやクラシックコンサートも楽しんでいます。海外旅行もずいぶん行きました。現地で知り合った人と今も交流が続いています。

35年ほど続けている「お茶」は、日本文化の奥深さに触れて



どこまで行ってもたどり着けない面白さでやめられません。フラワーアレンジメントも大好きなお花に接していると、心が癒されて、これも20年近く続いています。今

市民大学で知り合った人たちの交流の輪が広がって、さび付いてきている脳が刺激され、毎日生き生きとしています。過去を振り返らず前を見て人生を楽しむことが、私の第一の健康法だと思っています。

次に「食へのこだわり」があります。1973年に双子が未熟児で産まれました。そのころから食品添加物を取り入れた商品が増えだし、子供の体に添加物が蓄積されるのが不安でした。同じ思いのお母さんたちと地域のハム会社に無添加のウインナー、ハムなどに取り組んでもらったり、無農薬の野菜を作ることになった農家を応援して取り組んできました。おかげで子供たちも丈夫に育ちました。食は関心を持って選びとっていくのが大切と思っています。



むさし野俳句会（二十六年三月）平林寺吟行作品抄

野火止の用水ゆらり蝌蚪（かど）の紐
合戦に一匹（いちび）離れし蛙かな
伊豆殿の墓処明るめて梅の花
野火止のせせらぎを行く落椿
昔日（せきじつ）の樹林影なし鳥雲に
のどかさや仁王の眉の土埃
裂けし幹高野槇尚芽吹ききたり
用水の跡に椿の落花かな
高野槇春一番に胸をかし
廟守り臥竜桜となりにけり

鈴木 征子
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 典子
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉
中嶋 弘子

春一番はだか電球納屋照らす
解脫門抜けて盛りの梅と逢ふ
用水の潤れたる堀へ椿落つ
船宿や紅白梅の三分咲き
蛇穴出づる用もなき街へゆく
梅の香やローマ数字の古時計
写真屋の玻璃戸に透ける盆の梅
暖かや素手の自転車すれ違ふ
飛びかひつ一樹に集ひ囀れり

橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
小林 貞夫
佐藤 八郎
利根川啓一
中村 直子



《編集後記》

▼春は別れと出会いの季節とよく言われます。社会人は異動、転勤、小中高大学生は卒業、入学で離ればなれになったり、新しい出会いがあったりです。ところざわ倶楽部では一足早く今冬に30余名が新しく入会しました。「広場」では新入会員紹介コーナーを設けました。新しい出会いは何歳になっても胸ときめき嬉しいものです▼編集委員になって、広場の表紙の写真を担当していますが、ビビッドでエキサイティングな写真がテーマですが、まだまだ修行中です。しかし取材に行くとTV局や新聞記者、市民カメラマンに会い気軽に話しかけてくれ、結構楽しいです▼どなたか一緒にカメラぶら下げ取材に行きませんか？只今募集中!!!この号が発行されるころにまだサクラは咲いているか？それとも散って

しまっているか？表紙を空ける訳にいきませんが編集長には「締め日に遅れますが満開のサクラを掲載します!」と宣言しました。ハラハラ、ドキドキしていました▼昨年、偶然「舟を編む」を鑑賞しました。作品をみて感じたのは日本語の表現が幾通りもあり微妙に違う言葉を多くの読者にわかってもらう地味な作業の繰り返しは根気とやる気がなければ出来ないということです。しかしこれは「広場」の編集作業と似ています。投稿者の意図を汲み取りタイトル、字句、句読点、正誤等の細かい点検作業に編集委員は根気よく真剣です。発行後に公民館に行くと係員さんから「前号はありませんよ」と言われると地域の人にも読んでもらっているんだとなんだか嬉しくなります。（長岡慶一 3月25日記）